

平成26年6月教育委員会会議の要旨

1 日時

平成26年6月24日(火) 14時00分～16時10分

2 場所

山口市役所別館1階第2会議室

3 出席委員

大野委員長、國弘委員、宮原委員、横山委員、佐々木委員、竹内委員、岩城委員(教育長)

4 事務局

山根教育部長、田中教育部次長、眞砂教育総務課長、田中教育施設管理課長、
江山学校教育課長、上村社会教育課長、原田文化財保護課長、中原中央図書館長、
小野教育総務課主幹、中村教育総務課主査

(報告事項)

○報告第1号「平成26年6月定例会市議会の審議結果等について」

(概要)

平成26年6月定例会市議会の審議結果等について、事務局から報告があった。

1. 内容

(審議結果)

・今年度の教育費補正予算、「奨学金貸与条例」と「心身障害児就学指導委員会条例」の改正、小郡学校給食センター食器食缶洗浄機取得の議案については、6月26日の市議会最終日の本会議で採択が行われるため、来月の定例会で審議結果を報告する。

(概況報告)

- ・第23回世界スカウトジャンボリー開催1年前イベント
- ・市立図書館の臨時休館及び中央図書館における土日祝日の開館時間の延長
- ・平成26年度子どもの読書活動優秀実践校の文部科学大臣表彰受賞

(一般質問)

- ・いじめ防止対策
- ・通学路の安全対策
- ・教育委員会制度の見直し

(主な意見や質疑)

質問 : 児童生徒の通学に対する安全確保として、いま、不審者に対応した環境を整えていくような手立てを打っているのか。

回答 : 地域の見守り隊には、交通安全だけではなく、防犯上の見守りもお願いしている。このほか、警察に対しては、頻繁なパトロールをお願いしている。

質問 : 総合教育会議の開催頻度については、現時点ではどのように考えているか。

回答 : 現時点では、具体的にどのような方法で進めるかを市長部局と協議しておらず、その開催の時期や回数などはまだ決まっていない。

(協議事項)

○協議第1号「平成25年度基本事業等の事後評価について」

(概要)

平成25年度基本事業等の事後評価について、事務局から提案があり、協議した。

1. 提案理由

各課における平成25年度基本事業等の事後評価について協議するため。

(主な意見や質疑)

意見 :	低年齢から1種類のスポーツだけをしている子どもが多いため、体のいろいろな使い方を体験できる取組があればいいと思う。
意見 :	小学校で英語が盛んになっていくと、ますます専門業者への委託による形での指導助手が必要になってくるが、今後の方向としては、コストなどを考えながら、活用しやすい形で進めていただきたいと思う。
意見 :	100%の目標値であるべきものがそうではない場合や、すでに目標値を達成されている状態であるのに、目標値の設定がおかしいような場合については、納得してもらえそうな丁寧な説明をきちんとできるようにしていただきたいと思う。
質問 :	図書を除籍する基準はどうなっているのか。
回答 :	現在は雑誌を3年で除籍するほか、法律が変わって、内容も古くなった図書を除籍するようにしており、これ以外は原則、除籍しないこととしている。
質問 :	平成23年度から平成25年度までの図書貸出点数の推移を見て、平成29年度目標値達成の可能性はどの程度と見ているか。
回答 :	目標値達成の可能性は厳しいかもしれないが、イベントなどを実施することで、利用したことがない方にもどんどんアピールし、図書館カードの登録率を高め、貸出点数も増やしていきたいと思う。
質問 :	スポーツ活動に親しむ市民の割合で、75歳以上が大幅に増加しているが、地域での取組などがあるのか。
回答 :	地域ぐるみでの健康づくりとして、高齢者がウォーキングなどに取り組まれた成果と認識している。

(その他)

○学校給食の食物アレルギー対策について

質問 :	食物アレルギー対策について、現在、実際にエピペンを携帯している児童生徒はどのくらいいるのか。
回答 :	平成26年度の5月末現在、エピペンを所持する児童生徒は28人である。
質問 :	今後、教職員がエピペンを打つ可能性があるが、教職員への研修などがあるのか。
回答 :	エピペンの保管場所の周知や使用方法、発生時の対応訓練などの研修を行っている。

質問 : 教職員がエピペンを打とうとしたときに、子どもが拒否したため、危篤状態になったという事例もあったが、子どもと教職員のどちらが打つのがよいのか。

回答 : 緊急事態になれば、教職員がエピペンを打ち、子どものかかりつけの医者へ連絡するように、研修で指導を受けている。